

# スローライフだより 76

~Think globally, act locally~

第76号  
特定非営利活動法人  
スローライフ宮崎

〒880-2114 宮崎市大字富吉793番地1  
TEL/FAX 0985-62-4233  
<http://www.slow-life.or.jp>

## 10月10日(火) 第24回 めがね供養祭



### 行事報告

- |     |     |                       |
|-----|-----|-----------------------|
| 8月  | 23日 | めがね供養祭第1回実行委員会        |
|     | 27日 | 生目の杜運動公園円形花壇植栽 (コスモス) |
| 9月  | 14日 | 生目小学校5年生学習田稲刈り        |
|     | 29日 | めがね供養祭第2回実行委員会        |
| 10月 | 10日 | めがね供養祭                |



### 生目の杜運動公園 ボランティア斉清掃のお知らせ

日 時: 令和5年10月29日(日) 午前8:30~

集合場所: アイビースタジアム正面玄関前

ごみ拾い 小雨決行(事前申し込み不要です)



## コミュニケーションを考える

大学教員(宮崎市在住)



横山 彰三

10年以上前になりますが、アメリカ人看護師メラニー・シアーズが Humanizing Health Care という「非暴力コミュニケーション(NVC)」に関する本を書いています。大学での講義で使っていますが、以前から日本語に翻訳して出版できないかと思っていました。今春に、翻訳本が発刊となりました。推敲は数え切れないほど。途中、医療者の方々に入ってもらい、内容・日本語をチェックしてもらったり、翻訳作業は決して平坦な道ではありませんでしたが、実に読み応えのある、深い内容の翻訳に仕上がったと思います。

最近、精神科の閉鎖病棟での暴力事件が日本でもニュースに取り上げられ、NHKのルポでも放映されています。精神科に限らず、医療の現場は人命に関わりますしそこで働く医療人のストレスや疲労は想像以上です。他者に奉仕しようとするあまりに共感疲労やバーンアウト(燃えつき症候群)が起これば離職率も高い。殺伐とした職場環境の中、事故につながりかねないミスも起こりうる。緊迫した状況で心理的安全性を築くことが難しい...

本書は、米国の看護師である著者メラニー・シアーズが医療現場に身を置き、こういった葛藤を抱える中でNVCと出会い、その実践が患者さんの治癒や職場の人間関係に大きな影響をもたらすことの実感から生まれました。

看護師のカーラと医師のドナは、ウィスコンシン州にある司法病棟で、NVCを活用したプログラムを導入しました。その結果、患者隔離と拘束の件数は2003年の33件から2006年には6件に減少しました。隔離拘束時間は、2003年の92.57時間から、2006年には6.4時間に短縮されました。病棟内暴力が原因で、スタッフが重い傷を負うことによる業務上の損失は、数ヶ月からゼロに減少しました。毎年何万ドルもかかっていた1対1のスタッフ人件費を考える必要がなくなりました。

これは本文からの抜粋ですが、にわかには信じがたい数字です。この病院で起こったことは、コミュニケーションのやりかたを根本から変えることを通じて、医療の現場が劇的に変化した、つまり疎外されていた人間関係に本来の人間らしさを取り戻した、ということです。

この奇跡が、患者同士、医療者同士だけでなく患者と医療者の間でおこったという事実はなかなか尋常ではありません。誇張ではなく、NVCというコミュニケーションのプロセスは、人類にとっての必須リテラシー(その時代を生きるために最低限必要とされる素養)だと私自身は思っています。いったい、非暴力コミュニケーション(NVC)とは何でしょうか?是非、お手にとって読んでいただけたら嬉しいです。

メラニー・シアーズ著(今井麻希子、横山彰三共訳)

『全人的医療を支える共感的コミュニケーション・NVC』(NVC大学出版)





## 第24回めがね供養祭



10月10日の目の愛護デーに合わせて毎年生目神社でめがね供養祭を行っています。今回は来賓、駐車場勤務花壇勤務の方々に参加して頂き、久しぶりに大人数での供養祭となりました。

役目を終えて使われなくなっためがねを供養し、その中で、使用できるものは汚れ等を拭きとり清潔にし、一つずつビニール袋に入れて宮崎県ボランティア協会にお届けします。そこからめがねボランティアを行っている団体に送り、メガネを必要とされているタイの方に贈られます。

日本で役目を終えためがねをタイの方に贈り、タイの方々に「見える喜び」を感じてほしいと思いながら毎年供養祭を行っています。

(1265本のうち使用可能なめがね650本を宮崎県ボランティア協会にお届けします。)

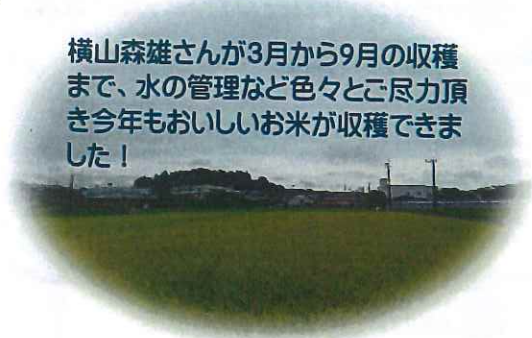


## 生目小5年生 学習田

5月17日に5年生と一緒に田植えを行った稲を9月14日に収穫致しました。

稲刈り予定日(13日)は雨で1日遅れての実施になりました。この時期は雨が多く田んぼもなかなか水が引かずねかるんだ所もあり、また稲を刈る前には田んぼの両端から紐を引き稲穂の水滴を落とす作業もありました。元気いっぱい5年生の子どもさんたちと一緒に立派に実ったお米を収穫することができました。

収穫したお米は5年生の調理実習(15kg)や全校生の給食(30kg)で使って頂きました。



横山森雄さんが3月から9月の収穫まで、水の管理など色々ご尽力頂き今年もおいしいお米が収穫できました!



白米395kg+玄米30kg収穫できました!

# 生目の杜運動公園円形花壇植栽



きれいな花を咲かせるために、  
花の植え替えの際には  
土を耕し、土壌を消毒し肥料を入れ、  
土づくりも毎回欠かさず行っています。

南駐車場南ゲート出入り口付近の花壇  
です。松葉ボタンとミニナデシコを植  
栽しています。



8月27日に円形花壇と南駐車場南側出入り口（柏原側）市道沿いの花壇の植栽作業を行いました。お天気にも恵まれ順調に育っていますので、秋の気配が感じられる頃には色とりどりのコスモスが咲きほこることでしょう。

公園を利用される皆さんが癒されるような花壇づくりを常に心掛けています。



令和5年10月12日 撮影

## 生き生き市民農園利用者募集中

市民農園に空きがあります。ご利用になりたい方がいらっしゃいましたらご紹介ください。

第1農園・・・1か所

第3農園・・・5か所



### 10月～1月の予定

10月 29日

生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃

12月 上旬

生目の杜運動公園円形プロムナード花壇植栽

1月 下旬

生目の杜運動公園周辺ボランティア清掃



### 委託業務関係

11月～1月

毎月第1火曜日

駐車場料金徴収員会議

スローライフ事務所

毎月第2火曜日

花壇管理者会議

スローライフ事務所

※ 駐 車 場

土、日、祝日、キャンプ期間中 駐車場料金収納・送迎車両誘導

(10:00～18:00)

※ 花 壇 管 理

随 時

## 編集後記



私達は、スローライフの文化活動の一環として生目の誇りである坂本正直画伯の個展“馬とふるさと坂本正直展”を2011年10月に、そして今回2023年4月に“ふるさと生目二人展 坂本正直・高橋和平”を宮崎市教育委員会をはじめ、多くの団体や報道機関のご後援を頂き、生目の杜遊古館で開催しました。1回目1113名、2回目の今回は選挙期間中でもありちょっと少なめの1009名の鑑賞者を得ることができました。ところで坂本正直さんの長女 所薫子さんからお礼として、大事な絵(作品)を差し上げたいという申し出がありました。個人の家や事務所に展示するのはちょっと筋ちがいでないかという想いがしました。そこで宮崎市に美術作品寄贈手続きをとり、新築された生目地域センターとお世話になった遊古館のどこか市民の目にとまる空白の壁面に展示してもらえないかお願いしました。願いがかなえられ11月の初旬頃には生目地域センターの待合室の近くの壁面に坂本正直さんの代表作『炎暑の中の馬』6OP(900×1320)の作品が日常的に鑑賞できるようになります。  
どうぞ期待!!

(長谷川) 令和5年10月17日

